

小海町洪水ハザードマップ

信濃川水系河川：千曲川、相木川

小海町洪水ハザードマップとは

この洪水ハザードマップは、千曲川・相木川のはん濫が予想される場合や実際にははん濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんが速やかに避難していただくために作成したものです。
 浸水想定区域は、平成17年に改正された水防法に基づいて、長野県が公表したものです。この範囲や深さは、千曲川および相木川で100年に1回の大雨により、川があふれた場合や堤防が壊れた場合を想定し、計算しています。
 なお、この浸水想定区域は、想定を超えるような大雨、下水道からの氾濫、小さな河川の氾濫を考慮しておりませんので、着色されていない区域でも浸水が発生することがあります。

凡例

- 浸水深 0.5m 未満の区域
- 浸水深 0.5～1.0m 未満の区域
- 浸水深 1.0～2.0m 未満の区域
- 浸水深 2.0～5.0m 未満の区域
- 浸水深 5.0m 以上の区域
- 行政界
- 地区界
- ➡ 避難の方向
- ① 洪水時の避難場所
- その他の避難場所
- ⚠ 土砂災害危険区域
- ✖ 洪水時に使用できない可能性のある橋梁

洪水時の避難場所一覧

No.	避難場所名	避難対象地区
①	小海高校	馬流元町地区
②	東馬流公民館	東馬流地区
③	土村集会施設	大州地区
④	小海町公民館	土村南町地区
⑤	小海中学校	土村南町地区
⑥	大州公民館	大州地区
⑦	中村集会施設	中村地区、本村地区
⑧	松源寺	本村地区

緊急連絡先

No.	機関名	所在地	電話番号 (市外局番 0267)
①	小海町役場	小海町豊里 57-1	92-2525
②	小海町交番	小海町豊里 869	92-2057
③	南佐久警察署	佐久市臼田 2010	82-0110
④	南部消防署	小海町豊里 756	92-0119
⑤	佐久広域連合消防本部	佐久市中込 3047-1	62-7723

避難時の心得

- 避難は速やかに
千曲川、相木川ともに大雨が降るとすぐに洪水が発生します。そのため、避難が必要な場合はできるだけ事前に避難を行うように心がけ、速やかに避難をしてください。
- 危険箇所を避けた避難を
はん濫の中を通過して避難することは非常に危険です。避難する時は、はん濫の恐れのある低地部や増水した河川に架かる橋、土砂災害危険区域は通らないよう注意し、高台などを通して避難してください。
- 安全な避難路の確認を
避難場所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。
- 非常持ち出し品の事前準備を
避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。
- 避難の呼びかけに注意を
危険が迫ったときには、役所や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。
- 速やかに避難しましょう
避難勧告などは、危険が迫ったときに出されますので、速やかに避難しましょう。避難の際には避難などの指示に従いましょう。
- 一人暮らしのお年寄りなどには気配りを
自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人は、一人暮らしからの気配りが必要です。
- 動きやすい格好、2人以上での避難
避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。
- 避難する前に
避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難場所を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。
- 車での避難は控えて
車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。また、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなるので、特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

避難情報の伝達方法

避難勧告、避難指示は、下の図のような経路で住民の皆さんへ伝達されます。

